

# 蛋白分画 報告書様式変更のお知らせ

[1/3] サポートライン  
**2147**

このたび、表題の検査項目について、報告書様式を変更いたします。

## 2020年 1月 6日 (月) より

### 蛋白分画検査報告書

検体No. \_\_\_\_\_

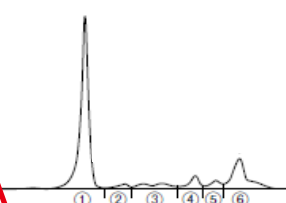
患者名 _____ 様	年齢 _____	性別 _____
科名 _____	カルテNo. _____	採取日 _____年 ____月 ____日
担当医 _____	患者ID _____	受付日 _____年 ____月 ____日
		報告日 _____年 ____月 ____日

検査材料 _____	検体情報 _____	乳ビ _____	溶血 _____
------------	------------	----------	----------

項目	分画測定値	単位	濃度	単位	基準値
総蛋白				g/dL	6.7 ~ 8.3 g/dL
① 蛋白分画					
① アルブミン		%		g/dL	55.8 ~ 66.1 %
② α <sub>1</sub> グロブリン		%		g/dL	2.9 ~ 4.9 %
③ α <sub>2</sub> グロブリン		%		g/dL	7.1 ~ 11.8 %
④ β <sub>1</sub> グロブリン		%		g/dL	4.7 ~ 7.2 %
⑤ β <sub>2</sub> グロブリン		%		g/dL	3.2 ~ 6.5 %
⑥ γグロブリン		%		g/dL	11.1 ~ 18.8 %
A/G(電気泳動法)					1.3 ~ 1.9

A/G(電気泳動法)は、蛋白分画より計算されたものです。

泳動パターン



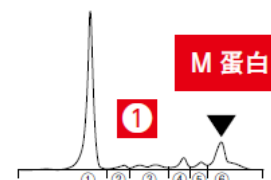
(参考: 典型例)

	急性炎症	慢性炎症	急性肝障害	肝硬変症	悪性リンパ腫(型)	ネフローゼ症候群	慢性腎臓病 蛋白不定	血管内溶血	急速増悪性疾患	急慢性不全症
TP			↑~↑			↓↓	↓↓			↓~↓
ALB	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
α <sub>1</sub>	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
α <sub>2</sub>	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
β <sub>1</sub>	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
β <sub>2</sub>	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑

コメント

**②** 泳動パターンのご報告例

検出された各バンドには、そのピークがどの成分に該当するのかわ確認できるように、下図の通り、数字(①,②,③,④,⑤,⑥)を付記してご報告致します。(血清蛋白分画のみ)



M蛋白、M蛋白疑い位置に▼印を印字致します。

コメント M蛋白様バンドが認められます

**①** 数字を付記する各成分

- ① アルブミン
- ② α<sub>1</sub>グロブリン
- ③ α<sub>2</sub>グロブリン
- ④ β<sub>1</sub>グロブリン
- ⑤ β<sub>2</sub>グロブリン
- ⑥ γグロブリン

検査部：中西 (PHS：6204)・増田 (PHS：2144)・西山 (PHS：2141)

検査部サポートライン PHS：2147



# 蛋白分画 報告書様式変更のお知らせ

[2/3]

サポートライン  
**2147**

## 蛋白分画検査報告書

検体No

患者名	様	年齢	性別
-----	---	----	----

科名	カルテNo	採取日	年	月	日
担当医	患者ID	受付日	年	月	日
		報告日	年	月	日

検査材料	検体情報	乳ビ	溶血
------	------	----	----

項目	分画測定値	単位	濃度	単位	基準値
総蛋白				g/dL	6.7 ~ 8.3 g/dL
蛋白分画					
① アルブミン		%		g/dL	55.8 ~ 66.1 %
② α <sub>1</sub> グロブリン		%		g/dL	2.9 ~ 4.9 %
③ α <sub>2</sub> グロブリン		%		g/dL	7.1 ~ 11.8 %
④ β <sub>1</sub> グロブリン		%		g/dL	4.7 ~ 7.2 %
⑤ β <sub>2</sub> グロブリン		%		g/dL	3.2 ~ 6.5 %
⑥ γ グロブリン		%		g/dL	11.1 ~ 18.8 %
A/G(電気泳動法)					1.3 ~ 1.9

A/G(電気泳動法)は、蛋白分画より計算されたものです。

### 泳動パターン

### コメント

<参考：典型例>

	急性炎症	慢性炎症	急性肝障害	肝硬変症	悪性リンパ腫(一部)	ネフローゼ症候群	栄養失調、蛋白不足	血管内溶血	免疫複合体疾患	免疫不全症
TP			↑~↑↑			↓↓	↓↓			↓~↓↓
ALB	↓	↓		↓	↓	↑~↑↑	↑~↑↑			↓↓
α <sub>1</sub>	↑	↑					↓			
α <sub>2</sub>	↑	↑	↓	↓		↑↑		↓		
β <sub>1</sub>	↓	↓				↓	↓			
β <sub>2</sub>		↑					↓			↓
γ	↑~↑↑		↑↑↑	↑↑↑	↑↑↑	↓	↓			↓↓

↓減少；↑増加；↓↓顕著な減少；↑↑↑大幅な増加

監修 前旭川医科大学教授 伊藤 喜久

医療機関

検査実施施設

検査責任者

(：既報告、 ! 基準値外、 # 再検済、 ★ 委託)

インフォメーション  
医療機関用：(03) 5994 - 2111

1/1



蛋白分画 報告書様式変更のお知らせ

[3/3]

サポートライン  
2147

蛋白分画検査報告書（尿・その他）

検体No.

患者名	様	年齢	性別
-----	---	----	----

科名	カルテNo.	採取日	年	月	日
担当医	患者ID	受付日	年	月	日
		報告日	年	月	日

検査材料	検体情報	乳ビ	溶血
------	------	----	----

項目	分画測定値	単位			
蛋白分画					
① アルブミン		%			
② α <sub>1</sub> グロブリン		%			
③ α <sub>2</sub> グロブリン		%			
④ β グロブリン		%			
⑤ γ グロブリン		%			
A/G(電気泳動法)					

A/G(電気泳動法)は、蛋白分画より計算されたものです。

泳動パターン

コメント

医療機関

検査実施施設

検査責任者

( : 既報告、 ! 基準値外、 # 再検済、 ★ 委託)

インフォメーション  
医療機関用： (03) 5994 - 2111

1/1

